

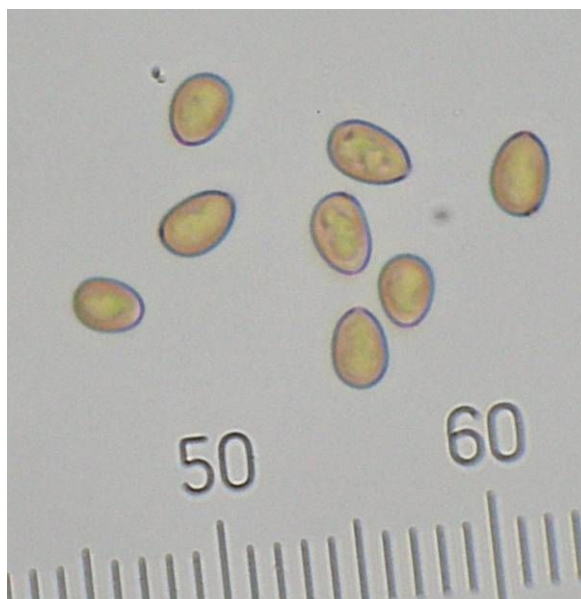
No. 0031

チャツムタケ属の一種

*Gymnopilus* sp.







孢子

- 傘は径 1.8-3.8cm, 饅頭形のち平開; 表面は繊維状, 中心では茶色い繊維が密になり茶褐色, 縁にいくとまばらになり黄土色の地が見えるが, 縁付近にも茶色い繊維は付着している.
- 柄は 1.5-2.0×0.35-0.5cm, 上下同径, 中心性~偏心性, 中実~中空; 表面は繊維状, クモの巣状の膜がときに見られる; 基部で茶褐色, 上部にいくほど色は淡くなり, 頂部では黄色となる.
- ヒダは密, 直生~湾状直生, 幅 0.3-0.5cm, 淡灰褐色~黄土色を帯びた灰色, 成熟すると茶色いしみを生じ, 小ヒダがあり, 全縁.
- 肉は厚さ 0.3-0.4cm, 傘部で淡黄色~淡茶色, 柄の上部で淡黄色, 柄の下部で茶色, 基部で茶褐色, 質はやや脆く, 特別な味は匂いはない.
- 孢子紋は淡褐色.
- 孢子は広楕円形で微いぼがあり, 大きさ  $7.5-8.5 \times 5-6 \mu\text{m}$ , Q 比 1.3-1.7, 非アミロイド.

採集日 2009年6月23日  
 採集場所 神戸市北区山田町  
 採集環境 アカマツ材上  
 採集者 幸徳伸也  
 同定者 幸徳伸也  
 標本番号 KS0006